

研究課題名	末梢血単核細胞を用いた GDF-15, FGF21 の感受性の調査
研究期間	2025 年 10 月 10 日 ～ 2028 年 4 月 1 日
研究の対象	先行研究「末梢血単核細胞を用いたダニアレルギー患者における chitin 感受性の調査」(E2023-0165) において二次利用について同意が得られている患者さん。
研究の目的・方法	GDF-15 と FGF21 という物質は、体内で炎症や組織の変化（線維化）に関わることが知られています。特に GDF-15 は、心臓や血管の病気において「病気の経過を予測する指標」として注目されていますが、喘息でどのように働いているのかはまだ分かっていません。 本研究では、これまでに同意をいただいて保存している血液の細胞を使って、GDF-15 と FGF21 が喘息にどのような影響を与えるかを調べます。 この研究を通じて、喘息の病気の仕組みについて新しい理解が得られ、将来的には新しい検査方法（バイオマーカー）や治療の手がかりになる可能性があります。
研究に用いる試料・情報の種類	E2023-0165 において二次利用について同意が得られている患者さんの試料・情報を使用いたします。 情報：年齢・性別・喫煙歴・performance status、身長、体重、喘息の重症度、肺機能検査、血液検査、喘息症状アンケート調査) 試料：血液検体 試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 分子内科学 准教授 岩本博志
利用または提供を開始する予定日	2025 年 10 月 10 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。 得られた試料・情報から氏名・生年月日等特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに個人情報とは無関係の番号を付けて取り扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
外部への試料・情報の提供	なし
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 分子内科学 准教授 岩本博志

	研究機関の長 広島大学理事 田中 純子 既存試料情報の提供機関 広島原爆障害対策協議会
その他	利益相反や知的財産権等はありません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方にご了承いただけない場合は、研究対象としますので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 呼吸器内科 担当者：岩本 博志 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5196